

## 「移住定住・就農」推進！ワクワク『豊丘村ワーキングホリデー』実施事業

### 取組に至る背景・事業の目的

人口減少や少子高齢化に伴い空き家が点在し、遊休荒廃地が増えてきている状況を改善し、豊かな農山村を維持するため、豊丘村では「移住定住・就農」を推進している。村のオリジナルワーキングホリデーは、移住定住へと結び付けるため、リアルな田舎暮らしや就農体験、住民との交流ができる事業であることを、移住定住・就農の希望者に対して発信・PRしていく。

### 事業内容

- ・「移住定住・就農」イベント参加事業  
南信州地域で一体となって実施する移住イベント等に参加し、村の移住定住・就農を宣伝（東京・名古屋・大阪で延べ20回）
- ・マスコミ活用事業  
新聞、雑誌、季刊誌の広告、AM・FM ラジオへの出演により村の魅力と支援策を発信し、県外都市部での認知度向上を図った。
- ・ワーキングホリデー実施事業  
移住希望者に対し、田舎暮らし体験、農作業体験、地域住民との交流など様々なメニューを取り入れたワーキングホリデーを実施



【 移住イベントへの参加 】

### 事業効果

- ・移住イベントや各メディアにおいてPRした結果、ワーキングホリデー参加者が増加した。  
年間延べ参加人数 H28：70人 H29：122人
- ・季節に応じた各体験メニューを地域住民と協力して実施しただけでなく、移住希望者に対する細やかな支援をした結果、5世帯12名の移住に繋がった。受入農家との信頼関係も生まれている。



【 柿の収穫体験の様子 】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今後においてもワーキングホリデーに様々なメニューを取り入れ、少しでも多くの人に定住をしてもらえるよう工夫を凝らしながら取り組んでいく。就農希望者にとっては、それぞれの特産物の多忙期に併せた体験が可能となることで、より具体的な就農への意識づけが可能になると思われる。

#### 【選定のポイント】

移住イベントやメディアの活用により、122名の参加者を集めることができた。単なる農業体験に留まることなく、参加者に応じたサポートを一体的に展開することで、年間12名の移住・就農者に繋がった。

団体名 豊丘村	事業タイプ ソフト事業
連絡先 産業建設課（0265-35-9056）	事業費 2,975,634円
メールアドレス <a href="mailto:teiju@vill.nagano-toyooka.lg.jp">teiju@vill.nagano-toyooka.lg.jp</a>	支援金額 1,205,000円